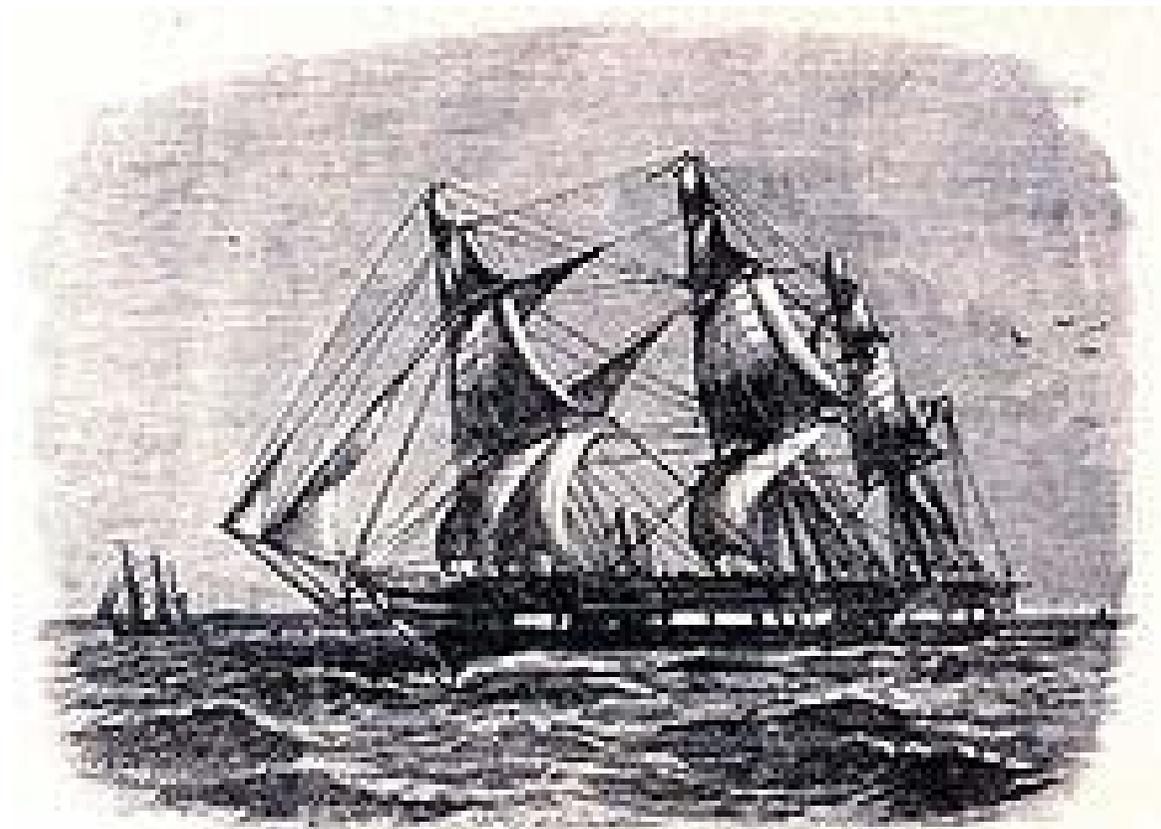


古代水辺民の物語

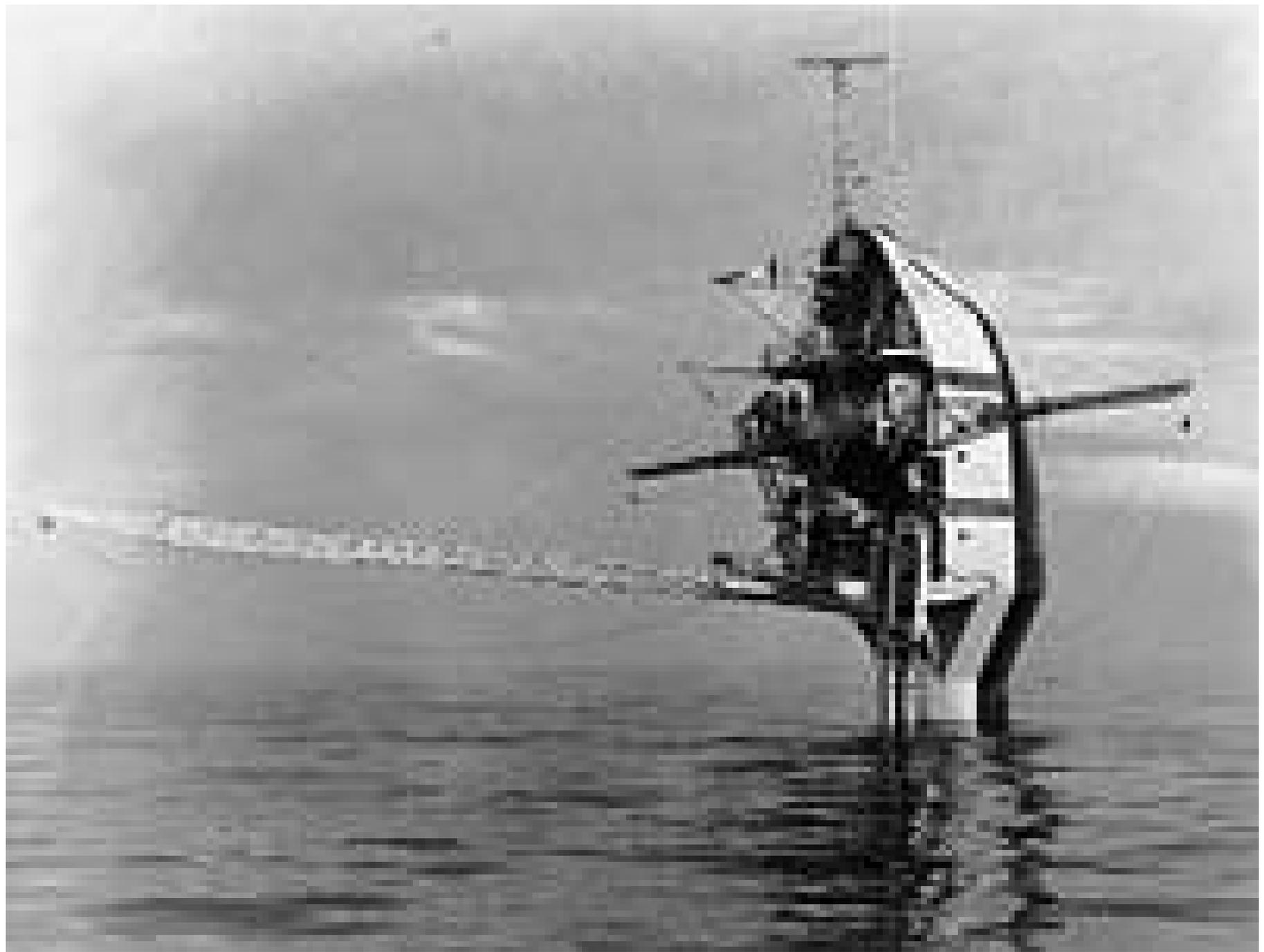
太陽の生まれる東土を求めて

高橋 裕成

NHK出版



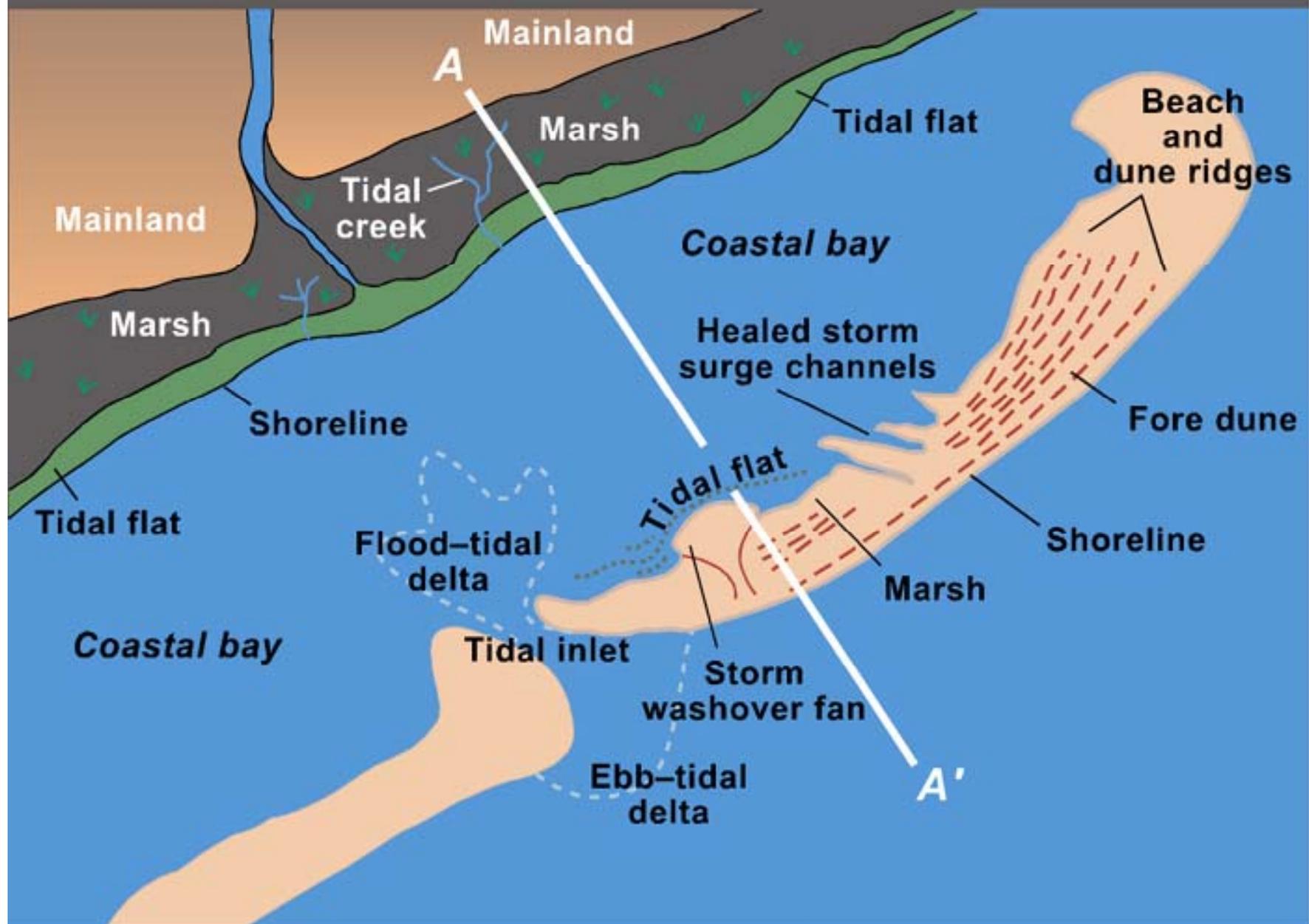
H.M.S. CHALLENGER UNDER SAIL, 1874.







BARRIER ISLAND SYSTEM



226

no. 1

A Report by the
Committee on Oceanography

OCEANOGRAPHY

1960 to 1970

1—Introduction and Summary
of Recommendations



**National Academy of Sciences—
National Research Council**





日本の海洋開発と海洋科学技術の問題点

海洋開発問題講座（岩波書店）1974 より

第一に、わが国の海洋開発にはナショナル・プロジェクトすなわち国としての開発の明確な目標がないことである。

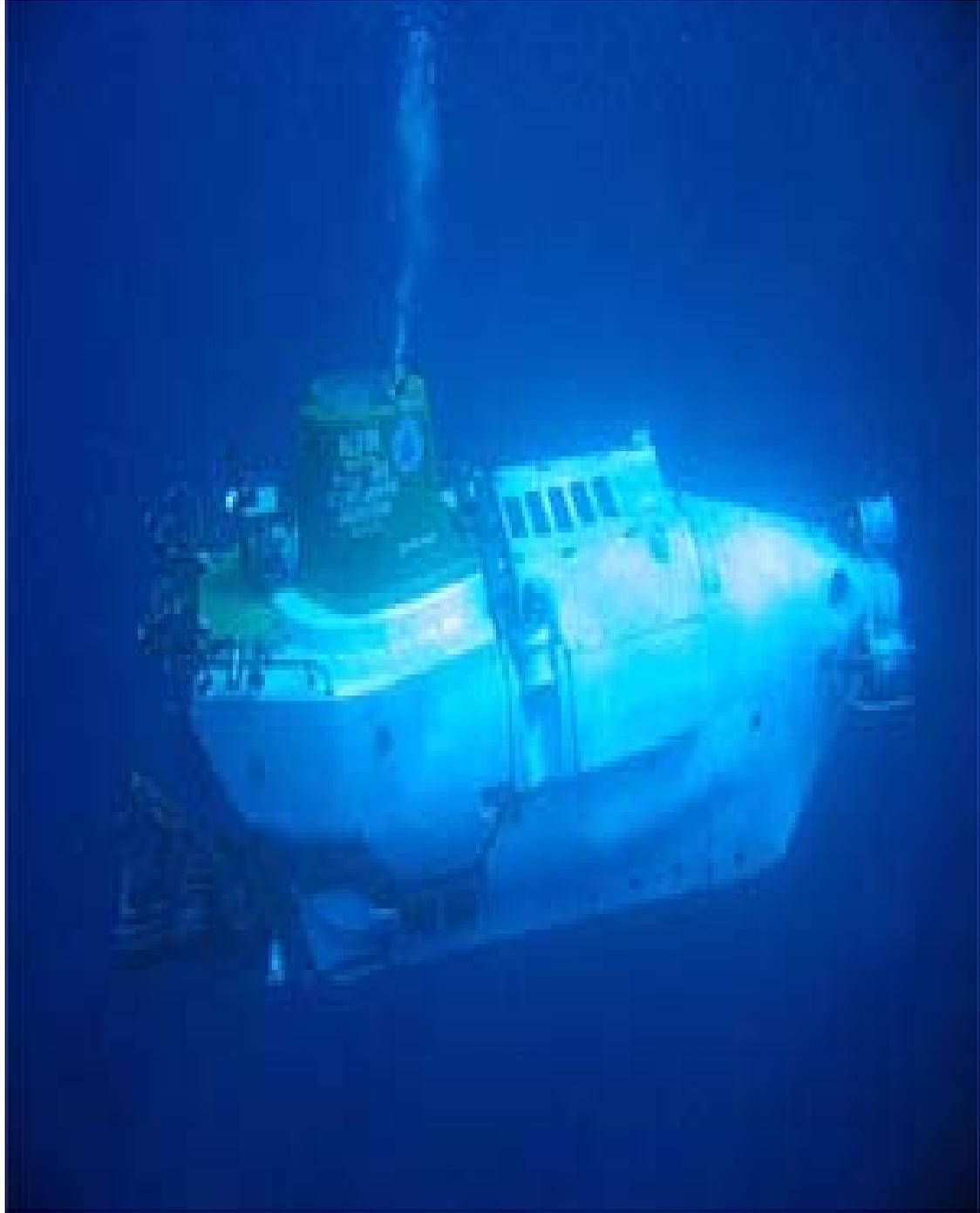
第二に、わが国の海洋開発のプロジェクトが、総花的にすぎ、企画性に欠けていることである。

第三に、政府の海洋開発に対する国家予算が少ないということである。

第四に、国会や政治の面における海洋開発への認識の不足である。

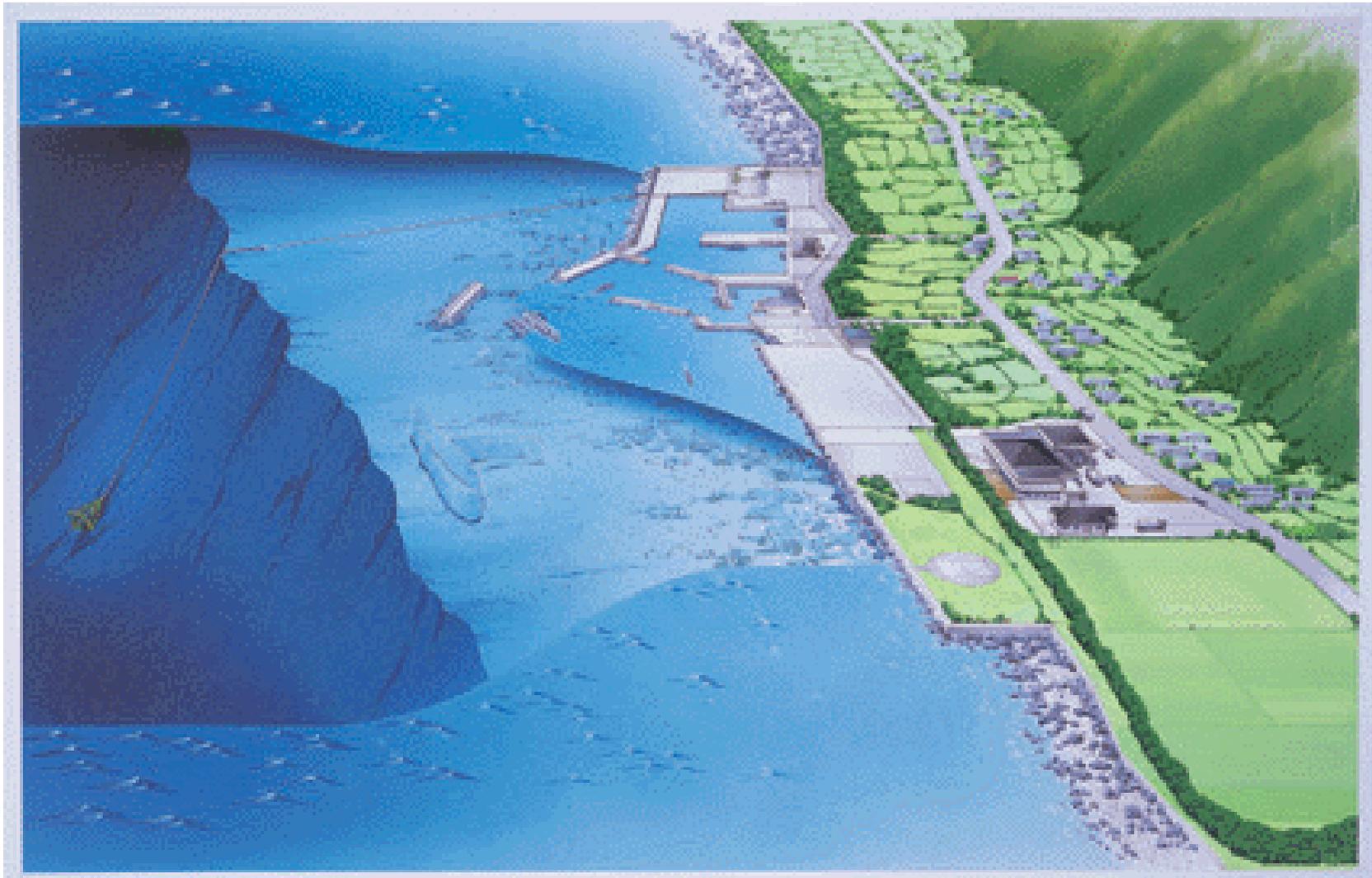
第五に、調査船が少ないことである。

第六に、海洋開発と漁業権の問題および公害の問題である。



答申等

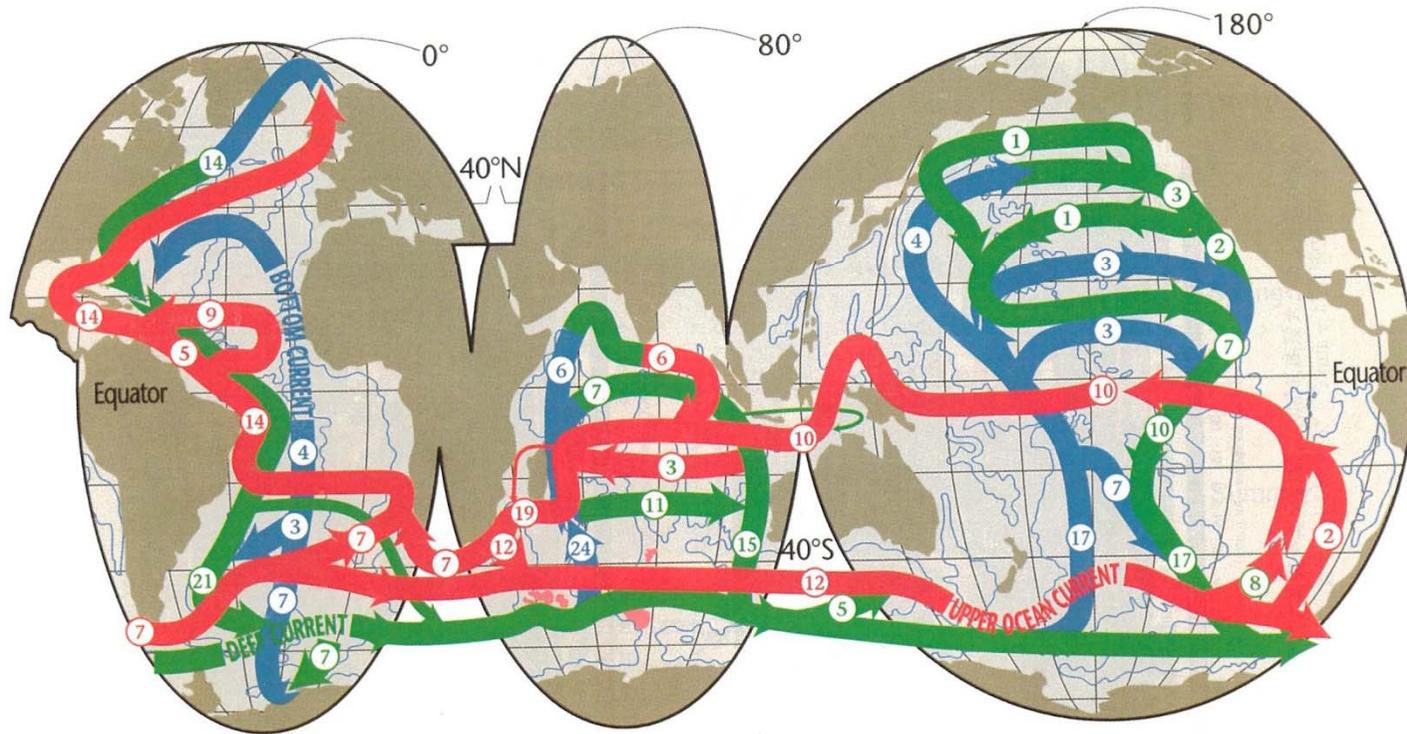
- 1973年10月 わが国海洋開発推進の基本的構想 海洋開発審議会の1号答申
- および基本的方策について
- 1978年11月 海洋科学研究の推進について 学術審議会の建議
- 1979年 8月 長期的展望にたつ海洋開発の 海洋開発審議会の2号答申
- 基本的構想について(第一次答申)
- 1980年 1月 長期的展望に立つ海洋開発の
- 推進方策について(第二次答申)
- 1990年 5月 長期的展望に立つ海洋開発の 海洋開発審議会の3号答申
- 基本的構想及び推進方策について
- 1993年12月 我が国の海洋調査研究の推進方策 海洋開発審議会の4号答申
- について
- 2002年 8月 長期的展望に立つ海洋開発の 科学技術・学術審議会
- 基本的構想及び推進方策について
- (21世紀初頭における日本の海洋政策)



心身のすみずみまで室戸海洋深層水の魅

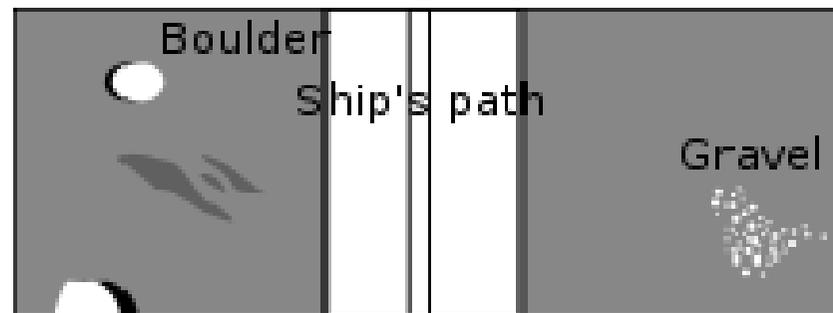
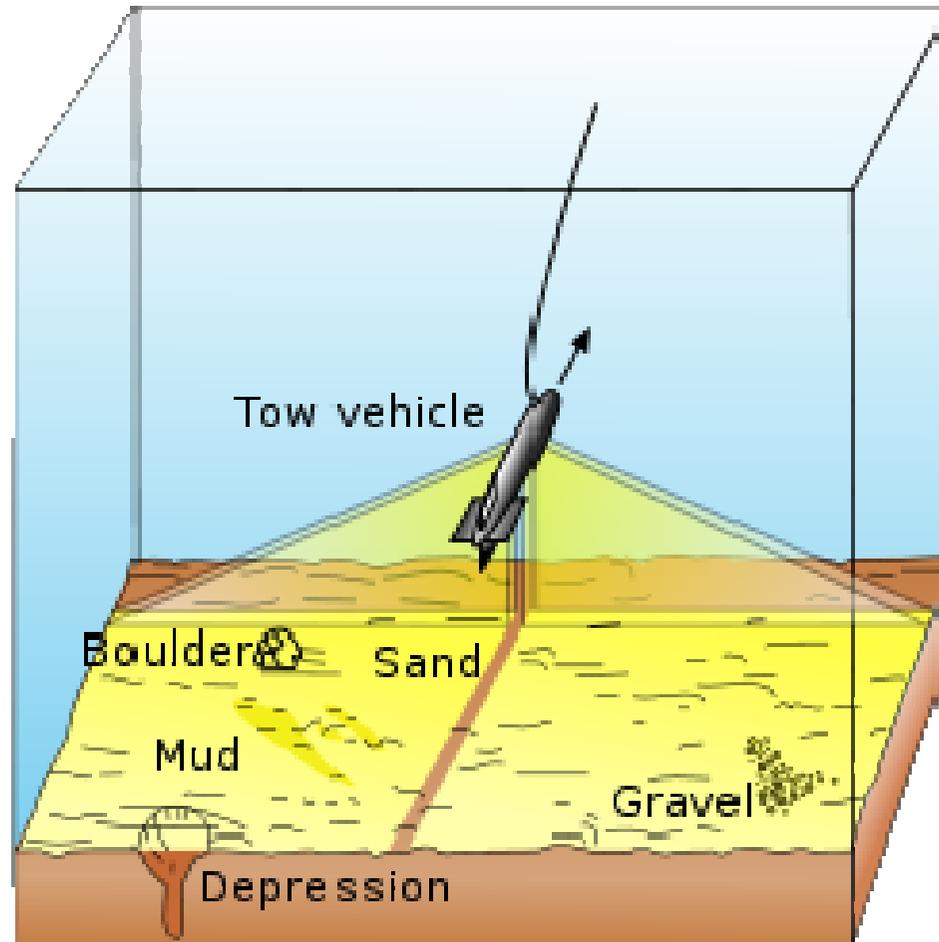
utoco deepsea therapy CENTER & HOTEL

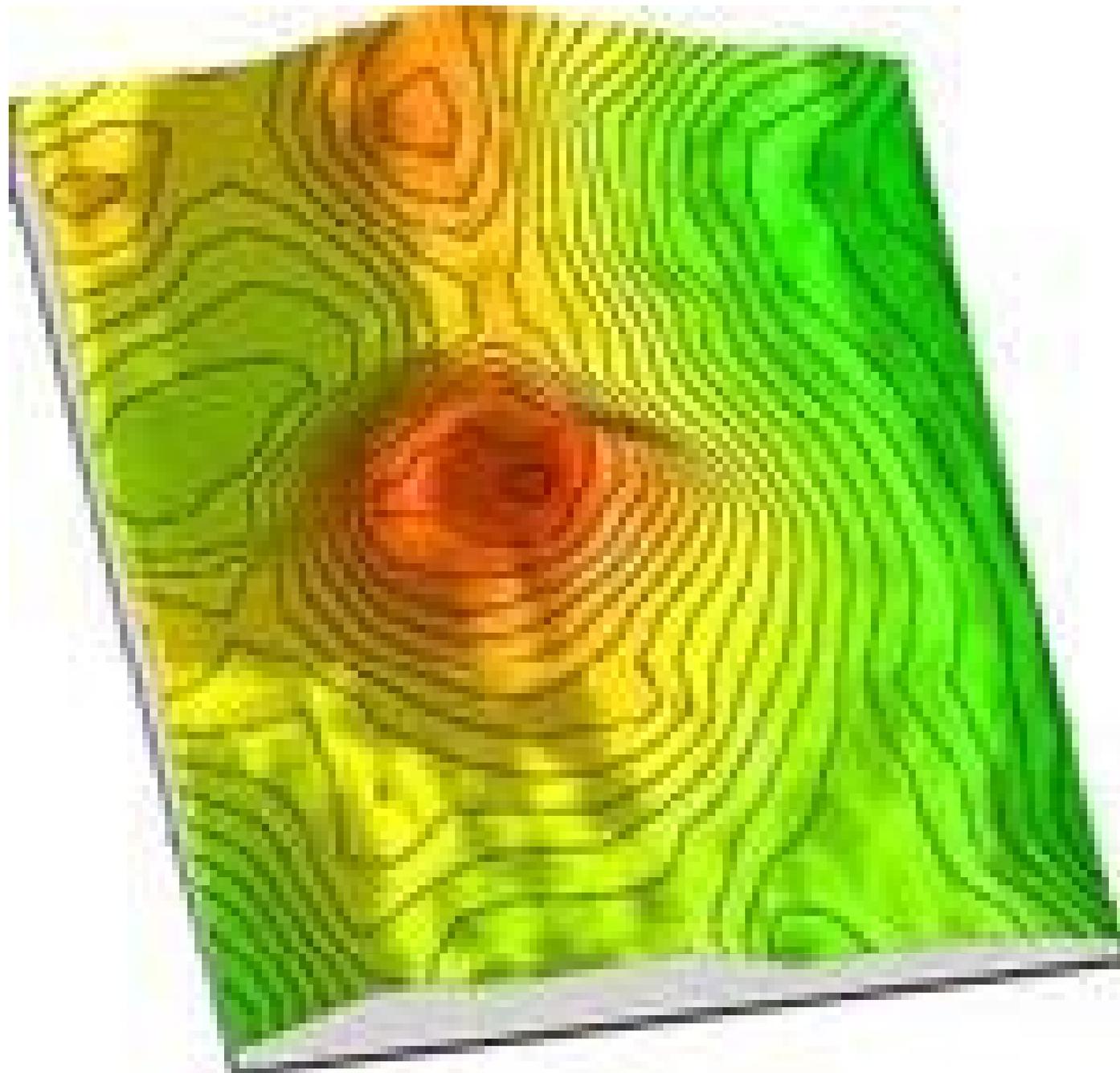
ウトコディーブシーセラピー センター&ホ



- 表層の流れ
- 深層の流れ
- 底層の流れ

口絵1 三層構造で表現した全球熱塩循環の模式図
 図中の数字は輸送量（単位は百万トン/秒）をあらわす。
 [©Dr. William Schmitz, Woods Hole Oceanographic Institution Technical Report, WHOI-96-08:Fig.II-156]

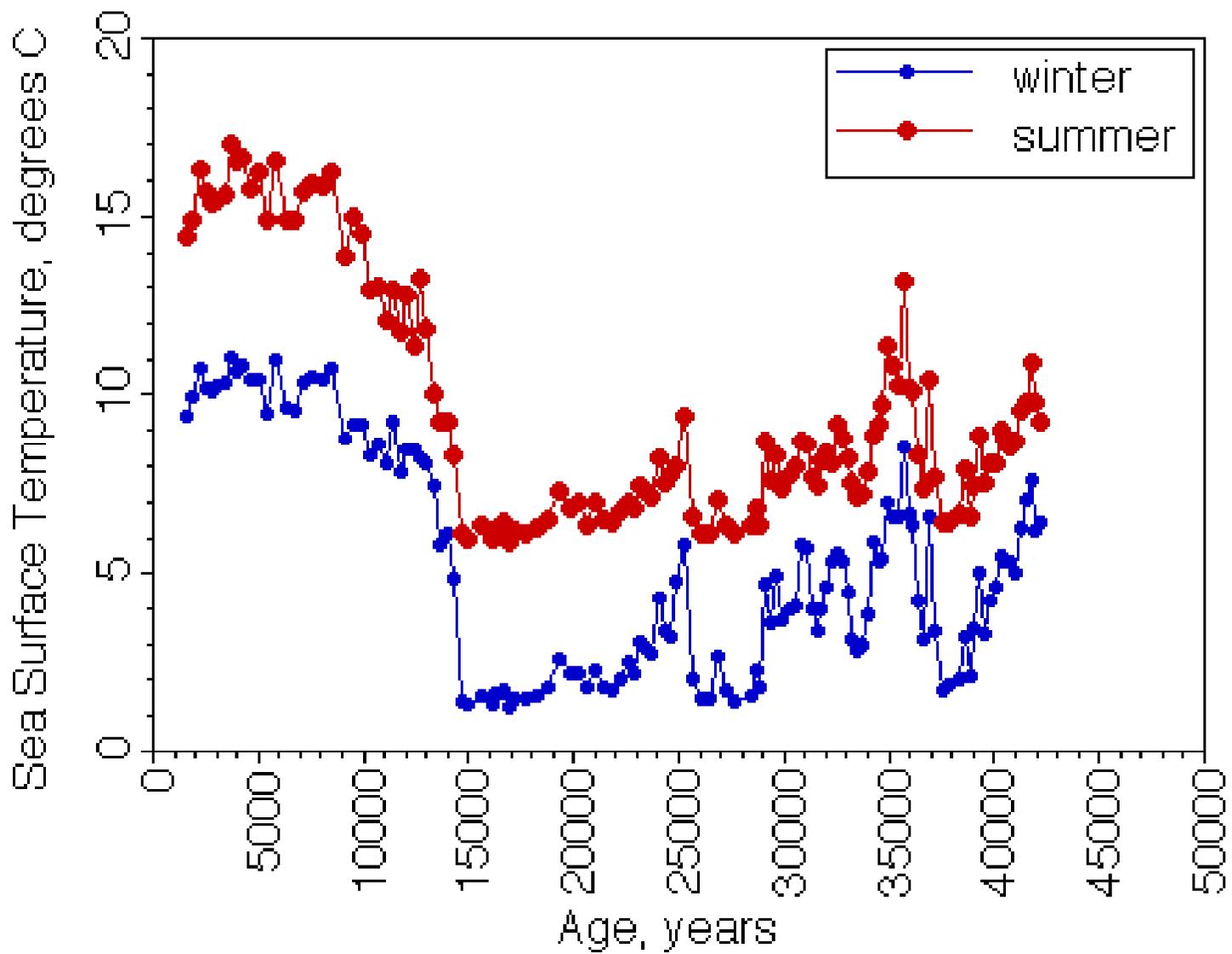




Archaeological Oceanography

edited by ROBERT D. BALLARD





THE JOURNAL OF THE JAPANESE SOCIETY OF
PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY

はこだて

NO. 107 1997



THE JOURNAL OF THE JAPANESE SOCIETY OF
PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY



研究センター建設予定地



研究センターイメージ図

これから

- 開発, 占拠 から 持続可能な利用と保全へ
- 科学技術コミュニティの政策形成への参加
- フロンテア しかし先住民が
- Eco-system based management & ocean governance
- 離島 から 拠点へ
- EEZの調査、評価、計画を 長期、総合的に